

05 国民春闘勝利をめざす闘争宣言 (案)

組合員のみなさん

本日、私たちは第32回臨時大会を開催し、05国民春闘・名古屋市長選勝利にむけて全力でたたかう決意を新たにしました。

05国民春闘における私たちのたたかいは、第一に「大企業の社会的責任を問う」ことです。労働者・国民のくらしは引き裂かれ、中小零細企業の経営はきびしい状況に追いこまれるいっぽう、トヨタをはじめとする大企業は、軒並み史上空前の利益をあげています。リストラを強行し、下請企業には過酷なコストダウンで、大企業は「自分たちさえ儲かればいい」というやり方で、犠牲を労働者・国民に押しつけているのです。「トヨタ生産方式」は他の産業にも広がり、長時間・過密労働が蔓延する反面、非正規労働者が急増しています。とりわけ青年の雇用を抑制する大企業の責任は重大です。

大企業・トヨタに対して「社会的責任」を求め、労働者が安心して働ける職場、公正な取引を確立するなどルールある社会を確立することが最大の課題です。そのために私たちは昨年に引き続き、2月11日(金)にトヨタ総行動にとりくみます。全国の仲間とともに大きく成功させましょう。

第二に、小泉悪政との対決です。小泉内閣は、憲法、とりわけ9条を改悪し、日本をアメリカの戦争にまきこみ、「戦争しない国」からふたたび「戦争する国へ」と突きすすんでいます。世界に誇るべき21世紀の羅針盤である9条を、改悪させるわけにはいきません。国民世論も運動も日増しに広がっています。愛労連は憲法・教育基本法改悪阻止に、全力をあげて奮闘するものです。さらに小泉内閣は、定率減税の縮小廃止・消費税の二ケタ増税を計画、国民のくらし破壊を強行しようとしています。小泉内閣の暴走をストップさせ、平和・くらしを守る運動を大きく広げましょう。

第三は、春闘課題とむすびつけて、名古屋市長選挙でくれまつ氏の勝利に全力をあげることです。名古屋から政治革新の大きなうねりをつくりだしましょう。

組合員のみなさん。

全労連は、05春闘で「もうひとつの日本は可能だ」というスローガンをかけています。大企業優遇、大增税・憲法改悪の日本ではなく、労働者・国民が安心してくらするルールある社会を築くことは、私たちのたたかい次第で、十分可能です。

サービス残業根絶、青年の雇用拡大をめざす運動、大增税反対、平和をめざす愛労連の運動は、県民のなかに大きな信頼を築きつつあります。05国民春闘におけるトヨタ総行動、2.23地域総行動、名古屋市長選挙勝利に、54000組合員が一丸となって全力をあげ、労働者・県民を励ます運動を県内すみずみに広げていきましょう。

以上、宣言します。

2005年1月23日

愛労連第32回臨時大会